

## V 出願書類の書き方

### 1 願書

**記入例1** (11頁) を参照し以下に注意して記入してください

- (1) 住所について  
埼玉県以外に住居地を有する場合は、都道府県名から記入してください。  
電話番号は、出願者本人と保護者の携帯電話や、保護者の勤務先・事業所等についても記入してください。(当課から、日中連絡をすることがあるため)
- (2) 在学学校、出身校について  
在学学生は、在学学校名と在学年を記入し、○印で囲んでください。  
卒業生は、卒業した学校名を記入し、卒業の欄を○印で囲んでください。
- (3) 高等学校卒業程度認定試験合格者について  
高等学校卒業程度認定試験に合格した方は、合格年度を記入し○印で囲んでください。  
大学入学資格検定に合格した方も同様に、その合格年度を記入し○印で囲んでください。
- (4) 進学志望校について  
進学希望校の学校名を記入してください。  
学部・学科・課程を記入してください。  
修業年限を記入してください。
- (5) 希望事項について  
入学一時金  
希望額 (30万円まで) を記入してください。  
月額奨学金  
希望額 (3万円まで) を記入してください。  
希望する期間 (修業年限以内) を記入してください。
- (6) 連帯保証人について  
奨学金の返還終了まで連帯保証人を依頼する方を記入してください。  
※予約採用後、誓約書や借用証書にも出願者と連帯保証人は連署・押印 (連帯保証人は実印) していただきます。
- (7) 保護者について  
出願者が未成年者 (18歳未満) の場合は必ず保護者が記入内容を確認のうえ署名してください。

### 2 奨学生志望理由

**記入例2** (12頁) を参照して記入してください。

### 3 推薦書

推薦者は記入例3(13頁)、「2 成績の要件」及び「3 推薦の要件」(4頁)を参照して記入してください。

出願時に学校に在学している者は在学している学校の長、学校を卒業し出願時に在学していない者は卒業した学校の長、その他の者は居住地の市町村長の推薦書を密封して提出してください。

※学校を卒業した者の出願資格は、卒業後5年以内です。

出 願 者		推 薦 者
高 等 学 校	在学	在学している高等学校の長
	卒業	卒業した高等学校の長
大学院・大学・短大・専修学校	在学	在学している学校の長
	卒業	卒業した学校の長
そ の 他 の 者		居住地の市町村長

### 4 本人及び世帯員の所得等に関する調書

記入例4(14~17頁)及びVI世帯の収入基準について(18頁~)を参照して記入してください。

**記入例 1**

様式第 1 号

(第 2 条関係)

読めるように丁寧に書いてください

奨 学 生 願 書				
(ふりがな) 氏 名		さいたま たろう <b>埼玉 太郎</b>		平成 17年 6月 4日生
住 所 〒***-****		さいたま市浦和区高砂△-〇〇-□		電話 048-***-****(自宅) 090-***** (本人携帯)
在学 出身	(学部・科等まで) 校 <b>県立 〇〇〇〇高校 普通科</b>	在学年 <b>3年生</b> 卒業	高等学校卒業 程度認定試験 年度合格	
(学部・科等まで) 進学志望校 <b>私立 〇〇〇大学 法学部 法律学科</b>			修業年限 <b>4 年</b>	
希望 事項	入学一時金	300,000 円		
	月額奨学金	月額	30,000 円	
		期間	令和 6年 4月から 令和 10年 3月まで	
<p>私は、本多静六博士奨学金の貸与を受けたいので出願します。          なお、採用された場合には、本多静六博士奨学資金の貸与に関する条例及び規則を遵守し、学生としての本分を守り、勉学に励むとともに、奨学金の返還の事由が生じた際は、遅滞なく返還することを誓約します。  <b>令和 5年 10月 1日</b></p> <p style="text-align: right;">本 人 氏 名 <b>埼玉 太郎</b></p> <p>私は、上記の者に貸与される本多静六博士奨学金に係る返還の債務について連帯して責任を負います。  <b>令和 5年 10月 1日</b></p> <p style="text-align: right;">連帯保証人 氏 名 <b>埼玉 明子</b></p> <p>(あて先) 埼玉県知事</p>				
連 帯 保証人	住 所	〒XXX-XXXX 電話 XXX-XXX-XXXX <b>埼玉県〇〇市〇〇1-1 〇〇マンションB-101</b>		
	本人との関係	<b>叔母</b>	生年月日	昭和 40年 8月 26日生
保 護 者 ※本人が 未成年者 の場合	住 所	〒XXX-XXXX 電話 048-***-****(自宅) さいたま市浦和区高砂△-〇〇-□ 090-***** (父携帯)		
	氏 名	<b>埼玉 博</b>	本人との関係	<b>父</b>

(注) 保護者とは親権を行う者又は未成年後見人のことをいいます。

**記入例2**

**奨学生志望理由**

(ふりがな)		さいたまたろう	
氏名	埼玉 太郎	平成 17年 6月 4日生 18 歳	
在学校	(学部・科等まで) 県立 〇〇〇〇高校 普通科	在学年 3 年生	大学入学資格検定
出身		年卒	年度 合格
進学志望校 (学部・科等まで) 私立 〇〇〇大学 法学部 法律学科			決定 未定
<p>● 次の内容により、<u>100字以上</u>で書いてください。</p> <p>1 高等学校3年生・既卒者</p> <p>① 進学先を選んだ理由</p> <p>② 卒業後の進路</p> <p>2 大学生等</p> <p>① 在学している学校の分野を選んだ理由</p> <p>② 卒業後の進路</p>			

※ 太枠内に100字以上で記入してください。

記入例3

様式第2号 (第2条関係)

推 薦 書

在 学 校 (出身校)	埼玉県立〇〇〇〇高校
氏 名	埼玉 太郎
住 所	さいたま市浦和区高砂△-〇〇-□
推 薦 理 由	<p>1 成績の要件 出願者の成績が基準を満たしているか評価し、推薦書に<u>具体的に記入してください。</u> ①高等学校3年生・高卒:3.5以上 ②大学生等:学内で上位2分の1以内又はGPA2.5以上 ※出願者が大学等の1年次に在学している場合は、②のみの内容になります。</p> <p>2 推薦の要件について 出願者の人物・健康が基準を満たしているか評価し、推薦書に<u>具体的に記入してください。</u> ①態度・行動が学生としてふさわしく、将来良識のある社会人として活動できる見込みがあること ②修学上支障がない健康状態であること</p> <p>◎詳細については4頁及び10頁を参照してください。</p>
記入者職氏名 面 談 日	第3学年担任 〇〇 〇〇 (面談日令和5年〇月〇日)

※出願者の住所を記入してください。

※出願者の住所を記入してください。

1 成績の要件  
出願者の成績が基準を満たしているか評価し、推薦書に具体的に記入してください。  
①高等学校3年生・高卒:3.5以上  
②大学生等:学内で上位2分の1以内又はGPA2.5以上  
※出願者が大学等の1年次に在学している場合は、②のみの内容になります。  
2 推薦の要件について  
出願者の人物・健康が基準を満たしているか評価し、推薦書に具体的に記入してください。  
①態度・行動が学生としてふさわしく、将来良識のある社会人として活動できる見込みがあること  
②修学上支障がない健康状態であること  
◎詳細については4頁及び10頁を参照してください。

※推薦書を記入した方の職氏名及び面談実施日を記入してください。

上記のとおり本多静六博士奨学生として適当と認め、推薦します。

令和5年10月〇〇日

推薦者 埼玉県立〇〇〇〇高等学校  
校長 〇〇 〇〇

(あて先)  
埼玉県知事

記入例 4-1

本人及び世帯員の

1 世帯の収入及び控除の状況  
(1) 本人の状況

父(給与収入 450 万円)、母(給与収入 72 万円)、  
祖父(年金収入 60 万円) 姉(給与収入 220 万円)、出願者本人  
(県立高校 3 年)、弟(市立小学校 6 年生)の 6 人世帯の場合

本人	氏名	生年月日	年齢	国立・私立	学校名	在学	高等学校卒業程度認定試験
	埼玉 太郎	平成17年6月4日生	18	県立	0000高校	3年 年卒	年度合格
	志望校 ※出願時の志望校名と合否・今後の日程について書いてください。						
	第一志望校	第二志望校		第三志望校			
	私立 000大学 法学部 法律学科						
決定	未定	試験日 12/4	発表日 12/21	試験日	発表日	試験日	発表日
総所得金額	所得の種類	特別控除額	備考		事務局記入欄		
0 万円	給与 事業 年金 その他( )	74 万円			22 ページ表 2 の 2 で該当するものを記載		

(2) 就学者を除く世帯員の状況

続柄	氏名	生年月日	年齢	総所得金額	所得の種類	特別控除額	備考	事務局記入欄
父	埼玉 博	昭和41年2月2日生	55	141 (450) 万円	給与 事業 年金 その他( )	万円		
母	埼玉 道子	昭和41年3月22日生	55	7 (72) 万円	給与 事業 年金 その他( )	万円		
祖父	埼玉 勇	昭和17年11月10日生	78	(60) 万円	給与 事業 年金 その他( )			
姉	埼玉 彩子	平成8年6月6日生	25	(220) 万円	給与 事業 年金 その他( )			
		年 月 日生		万円	給与 事業 年金 その他( )			

給与の場合、18、19 ページの計算方法によるこの例の場合  
 $450 \text{ 万円} \times 0.3 + 174 \text{ 万円} = 309 \text{ 万円}$  (控除額)  
 $450 \text{ 万円} - 309 \text{ 万円} = 141 \text{ 万円}$ …①【A表】  
 $72 \text{ 万円} \times 0.4 = 28.8 \text{ 万円}$ … (控除額が 65 万円未満の場合は 65 万円)  
 $72 \text{ 万円} - 65 \text{ 万円} = 7 \text{ 万円}$ …②【B表】  
 世帯の総所得金額=①+②の合計=148 万円  
 (①:父親の所得金額 ②:母親の所得金額)  
 ◎全員の所得証明書を添付

(3) 就学者の状況

続柄	氏名	生年月日	年齢	国立・私立	学校名	在学	特別控除額	備考	事務局記入欄
弟	埼玉 次郎	平成21年4月15日生	12	市立	00小学校	6	31 万円		
		年 月 日生					万円		
		年 月 日生					万円		
		年 月 日生					万円		

21 ページ表 2 の 1 で該当するものを記載

注 1 本人に収入がある場合は、総所得金額を記入してください。

注 2 生計を一にする世帯員全員を記載してください。

総所得金額は、「VI 世帯の収入基準について」として計算した世帯員を扶助している者及び本人の配偶者、全員の総所得金額を万円単位(万円未満切り捨)の種類のうち「その他」は、不動産所得、退職金の兄弟姉妹等の所得は含みません。)などの別を記入してください。(同居)

注 3 別居の場合は、備考欄に住居地を記入して

表面

裏へ

## 2 特別控除の対象となる事項（障害者、長期療養、単身赴任、災害等の事情）

特別控除の対象となる事情		
年間の支出増	万円	年間の収入減 万円
—増減額積算—		
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content;"> <p>21 ページ表 2 の 1 で該当がある場合記載してください。記載がない場合、特別控除として算入されないことがあります。</p> </div>		
事務局記入欄		

注 「VI 世帯の収入基準について」の「特別控除額」のうち、「障害者」「長期療養者」「主たる家計支持者の別居」、「火災等の被害」に該当する場合、その事情を「特別控除の対象となる事情」欄に記入し、そのための年間の支出額の増加又は収入額の減額の根拠を記入してください。

## 3 その他特別な事情

事務局記入欄	裏面

注 貸与を希望する特別な事情があれば

記入例 4-2

本人及び世帯員の所得

母（営業所得 100 万円、不動産所得 50 万円）、出願者本人（国立大学 1 年（授業料年額 52 万 5 千円）、弟（公立高校 1 年生）の 3 人世帯（母子世帯）の場合

1 世帯の収入及び控除の状況  
(1) 本人の状況

本人	氏名	生年月日	年齢	国立・私立	学校名	在学	高等学校卒業程度認定試験
	埼玉 太郎	平成16年6月3日生	19	国立	〇〇大学	1年 年卒	年度合格
	志望校 ※出願時の志望校名と合否・今後の日程について書いてください。						
	第一志望校		第二志望校		第三志望校		
	決定	未定	試験日	発表日	試験日	発表日	試験日
総所得金額	所得の種類		特別控除額	備考			
0 万円	給与 事業 年金 その他 ( )		75 万円	22 ページ表 2 の 2 自宅通学 23 万円+52 万円=75 万円 ※併せて、授業料年額がわかるものを提出してください。 例：大学からの通知（写）など			

(2) 就学者を除く世帯員の状況

続柄	氏名	生年月日	年齢	総所得金額	所得の種類	特別控除額	備考	事務局記入欄
母	埼玉 道子	昭和41年3月23日生	55	150 万円	給与 (事業) 年金 その他 (不動産)	99 万円	母子家庭	
		年 月 日生		万円	給与 事業 年金 その他 ( )	万円		
		年 月 日生		万円	給与 事業 年金 その他 ( )	万円		
		年 月 日生		万円	給与 事業 年金 その他 ( )	万円		

(3) 就学者の状況

続柄	氏名	生年月日	年齢	国立・私立	学校名	在学	特別控除額	備考	事務局記入欄
弟	埼玉 次郎	平成17年5月15日生	16	県立	〇〇高校	1	39 万円		
		年 月 日生					万円		
		年 月 日生					万円		
		年 月 日生					万円		

注 1 本人に収入がある場合は、総所得金額を記入してください。

注 2 生計を一にする世帯員全員を記載し  
総所得金額は、「VI 世帯の収入基準  
員の総所得金額を万円単位（万円未満  
種類のうち「その他」は、不動産所得  
の兄弟姉妹等の所得は含みません。）

表面

出願者を扶助している者及び本人の配偶者、全  
する所得源を全て〇で囲んでください。所得の  
を除く）などの別を記入してください。（同居

注 3 別居の場合は、備考欄に住居地を記入してください。

裏へ

## 2 特別控除の対象となる事項（障害者、長期療養、単身赴任、災害等の事情）

特別控除の対象となる事情		
年間の支出増	万円	年間の収入減 万円
—増減額積算—		
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>21 ページ表 2 の 1 で該当がある場合記載してください。記載がない場合、特別控除として算入されないことがあります。</p> </div>		
事務局記入欄		

注 「VI 世帯の収入基準について」の「特別控除額」のうち、「障害者」「長期療養者」「主たる家計支持者の別居」、「火災等の被害」に該当する場合、その事情を「特別控除の対象となる事情」欄に記入し、そのための年間の支出額の増加又は収入額の減額の根拠を記入してください。

## 3 その他特別な事情

事務局記入欄

注 貸与を希望する特別な事情があれば記入

裏面